

新製品 新技術紹介

美容・理容分野で活用できるコンサルティング型ミラーサイネージシステム 藤谷 猛

ブレインコンピューター株式会社 代表取締役
〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-15 桜通ビル5F
TEL：052-201-5518 FAX：052-231-5423
URL：http://www.brain.jp



弊社概要

弊社は1985年5月にソフトウェアの開発を主たる目的とし設立されました。30年を経過した現在では情報システムの開発だけにとどまらず、それに加えPCや周辺装置の設計からデジタルサイネージの設計・製作と新たな分野にも挑戦を続けております。

開発の背景

平成26年度末の厚生労働省統計によると全国の美容所数は約23万件、理容所数は約12万件、美理容所数は合計で約35万件を超えると発表されています。これは全国のコンビニ店舗数の約5万件を大きく上回る件数となり、もはや技術レベルの向上だけでは集客が難しく、新たな方策が求められています。特に店舗出店の激しい美容業界では、同業他店との競争を勝ち抜くために客単価の上昇、付加価値の創出、顧客の利便性向上などを目指し試行錯誤が続いています。弊社では、その方策の一つとしてコンサルティング型ミラーサイネージシステムを開発致しました。

本製品の概要

限られた室内で、客単価の上昇と来店者数の増加、リピーターの固定化を実現するために弊社ではミラー（鏡）に着目しました。近年、日本国内においてもデジタルサイネージが普及し新しい広告媒体として、その効果が認知され増加の一途を辿っています。

顧客である利用者は、平均2時間程度着座しミラーと対峙しています。これまで施術終了まで雑誌を読むことぐらいしかなかった待機時間をミラーのデジタルサイネージ化により、ミラーの内部に拡販商品の紹介、テレビやビデオの放映、頭皮や肌のコンサルティングなどの機能を付加し待機時間の解決、顧客サービス、利益向上に有効利用することが可能となりました。

本製品の特徴と機能

本製品では、ハーフミラーと液晶ディスプレイを密着させ、文字や映像を内側から透過し鏡の中に表示します。映像が表示されていない部分では、通常使用する鏡と何ら差異なく使用できます。こ

に次の機能を付加することでデジタルサイネージと鏡を融合させたシステムを構築しました。

- ①鏡の全体または任意の場所に動画・静止画などの表示する機能
- ②鏡の最下部に文字と写真をテロップとして流す機能
- ③鏡の中に髪形や商品などを表示し任意に選択させる機能
- ④鏡の中の任意の場所にテレビ・ビデオを表示・再生する機能
- ⑤マイクロスコープを使い頭皮や皮膚の状態を鏡の中に表示し過去のものと比較する機能

人が着座していないときは、一般的なデジタルサイネージとして鏡の全体に動画やポスターを表示します。しかし、人が鏡の前に着座すると従来通りの鏡に戻ります。また、鏡の任意の場所を用い美容師を支援するシステムを稼働させることもできます。美容師は髪のカットやスタイリングをしている時間を埋めるために雑誌などを提供しますが、雑誌の上に髪が落ちる事で顧客は不便を感じます。本システムでは鏡の中にビデオやテレビなどの映像を表示・再生し、顧客の間を埋める事が可能になりました。鏡の最下部には、文字と写真をテロップとして流し物販の支援をすることもできます。また、コンサルティング用途として鏡の中に多数の髪形を表示し利用者に希望の髪形を選択させる機能や、マイクロスコープを用いることで頭皮や皮膚の状態を鏡の中に表示し、過去に記憶した状態と比較する機能も搭載しました。

今後の展開

すでに導入済みの美容室では、鏡の中にテレビやビデオが再生できることで顧客に喜ばれていることや、鏡の最下部に商品の写真や解説をテロップとして流せる事によりシャンプーや化粧品の売り上げが大幅に増加したとのお声を頂いています。今後は、美容室からのヒアリングを続け、システムとして更なる機能を付加できるよう努力を続けて参ります。

